

平成23年3月期 決算説明会

英知をつなげる エレクトロニクスの会社

平成23年5月10日

ヒロセ電機株式会社

注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

H22年度のビジネス概況

〔H22年度第1四半期〕

◎海外携帯電話向けで一部調整が入るも、自動車向け及び産機市場向け受注・売上が堅調に推移。

〔H22年度第2四半期〕

◎海外携帯電話及び自動車市場向けを中心に、売上は堅調に推移するも、受注は8月以降主に産機市場向けで調整が入り、第1四半期をやや下回る水準となった。

〔H22年度第3四半期〕

一部スマートフォンや電子書籍等は堅調に推移するも、産機市場向けは調整が続いている状態。

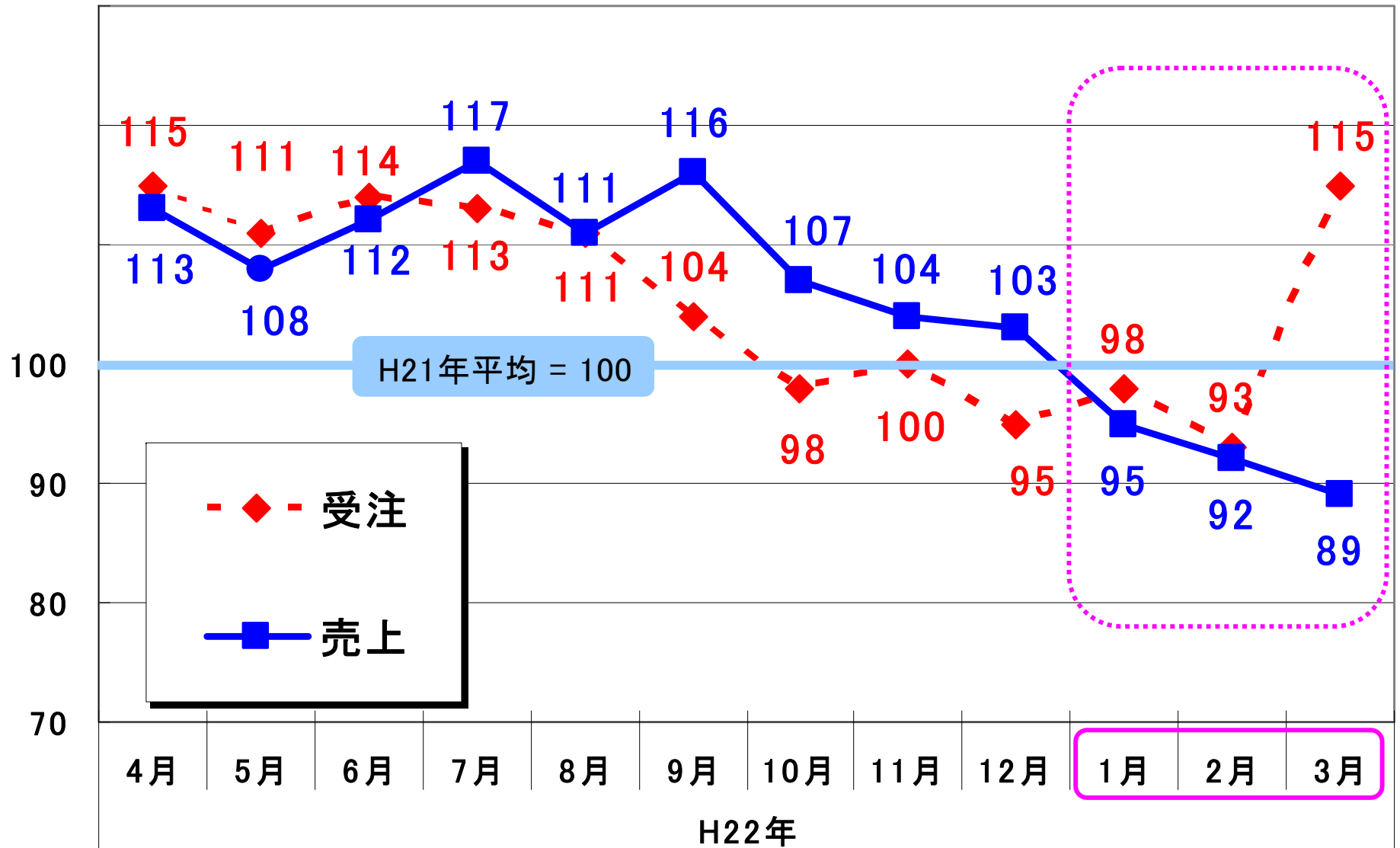
〔H22年度第4四半期〕

一部デジタル家電向け受注が低調だったものの、スマートフォンや電子書籍等は堅調に推移。3月は在庫調整終了や震災影響によって産機市場向け及び携帯電話・スマートフォン向けを中心に受注増。

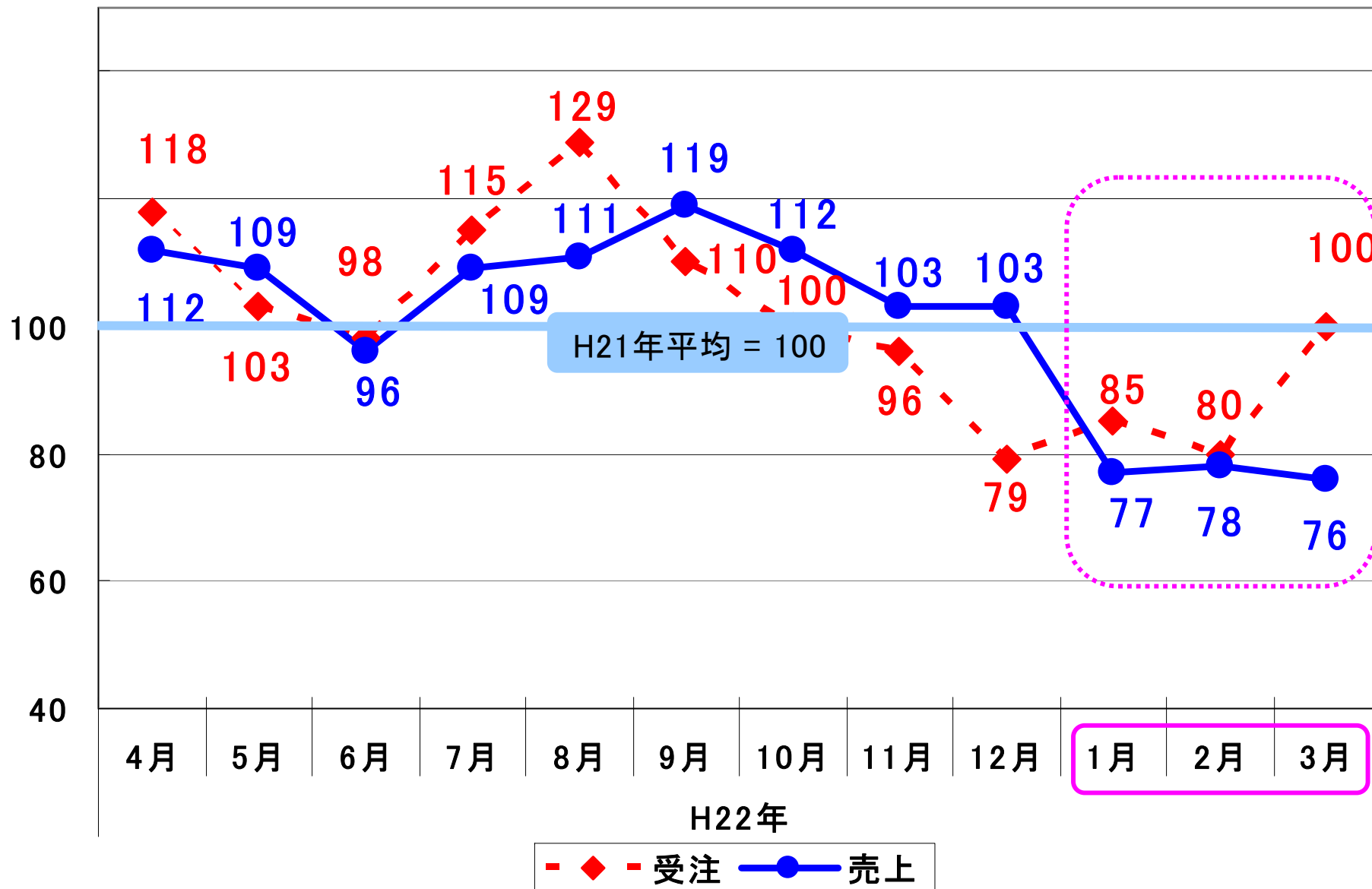
〔H22年度年間累計〕

H22年度年間累計 受注 946.5億円（対前年同期比 8.5%）
売上 924.4億円（対前年同期比 9.4%）
経常利益 227.4億円（対前年同期比 3.4%）。

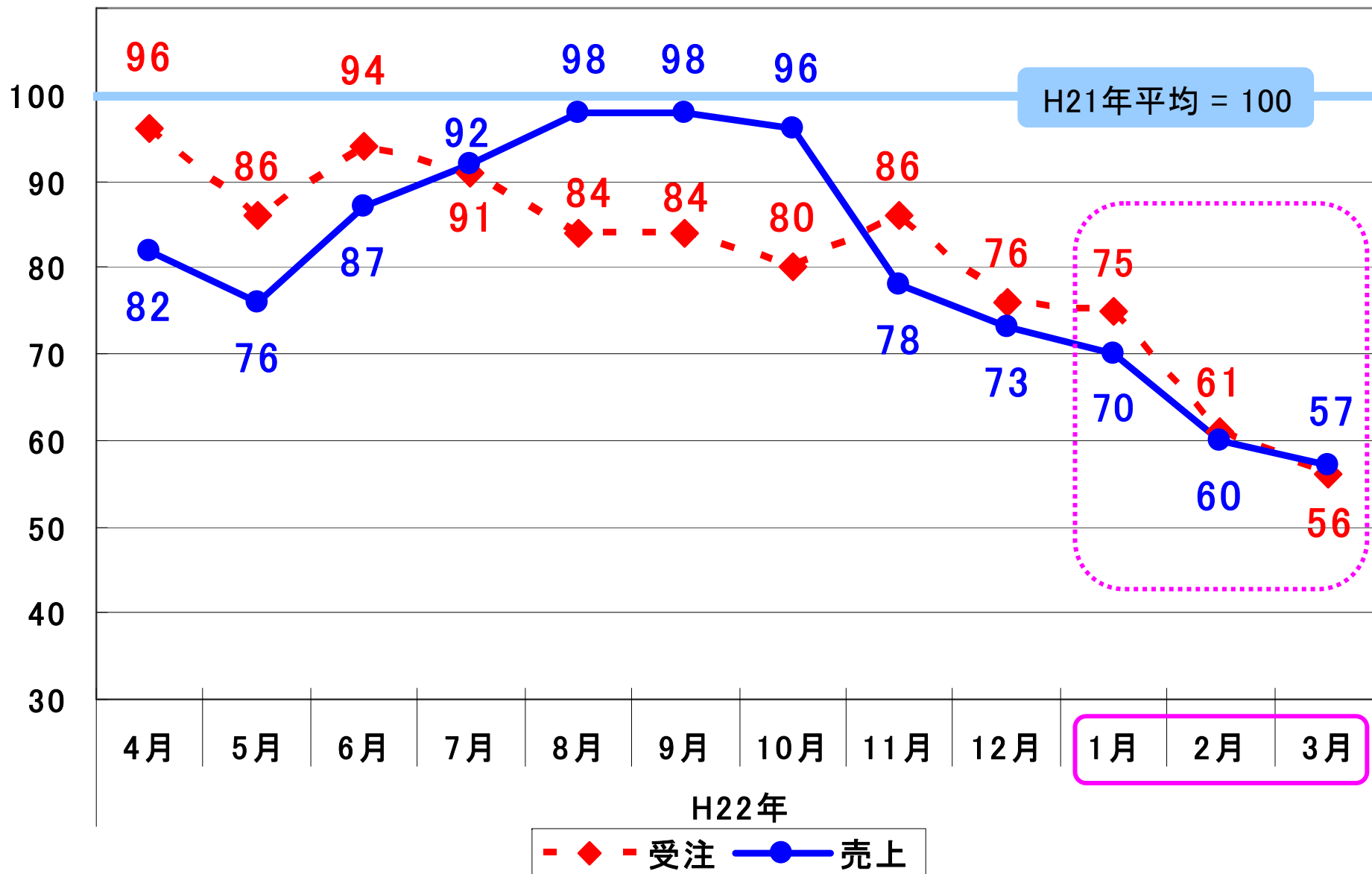
H22年度受注・売上月次推移(単体ベース、指数表示)



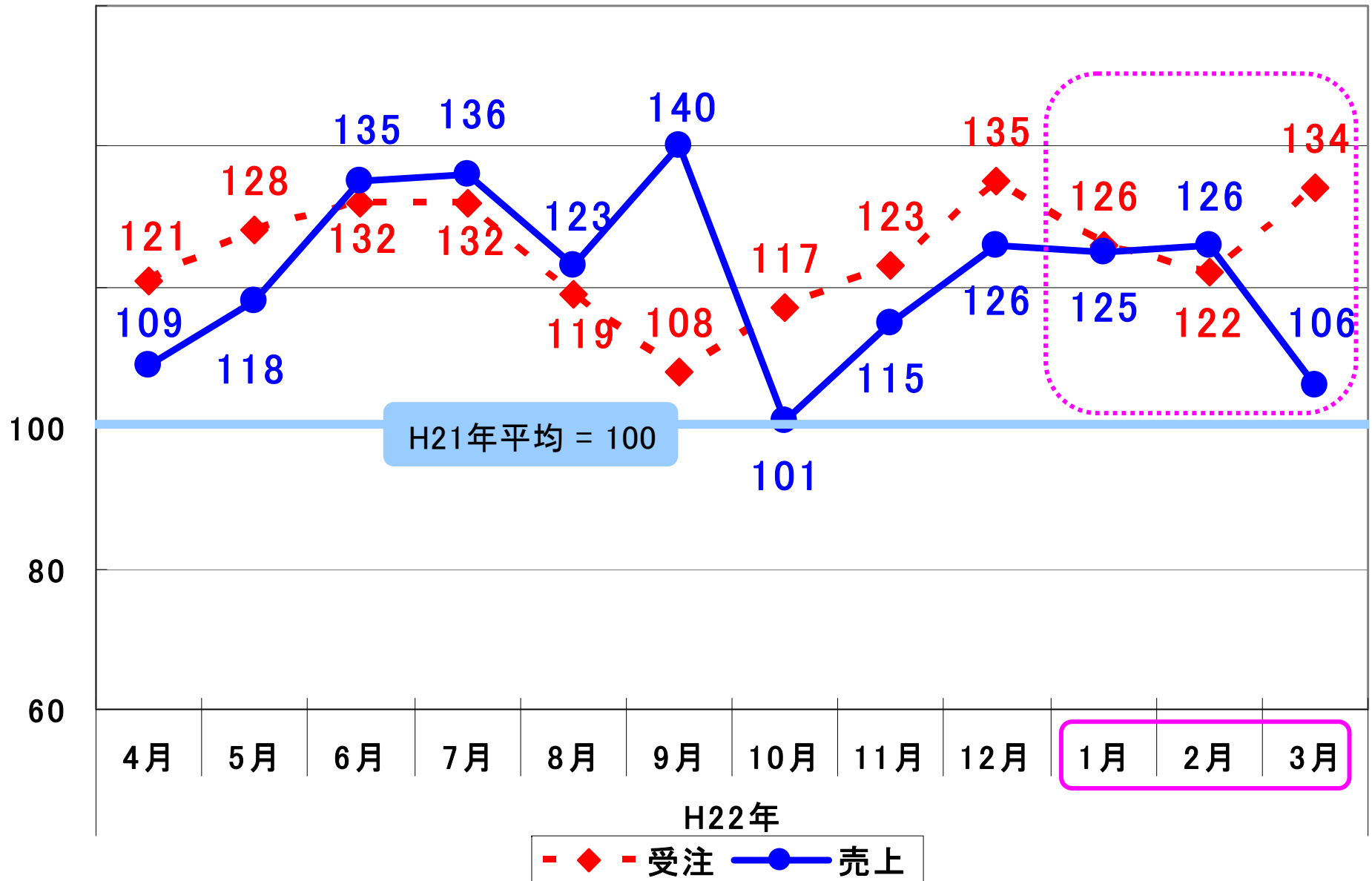
《携帯電話》



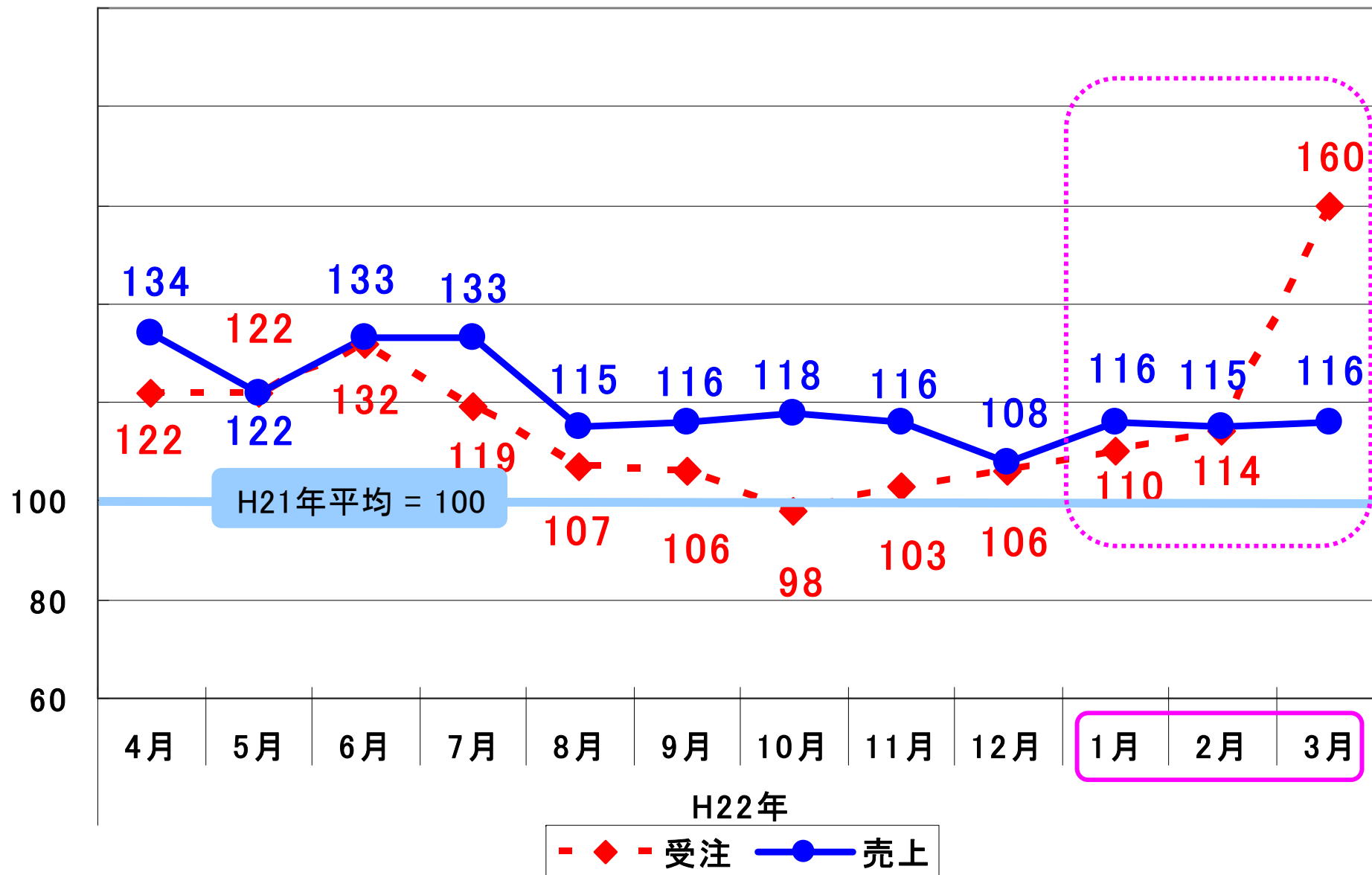
《デジタル家電》



《自動車》



《一般産機(電子応用、FA制御、その他)》



H22年度 連結決算概要

注) 緑色斜体数値・・・H23/2公表数値

(金額単位: 億円)

	(A)H21年度 (H22/3月期)	(B)H22年度 (H23/3月期)	(B)-(A)	(B)/(A)
売上高 (売上原価率) (販売・管理費比率)	844.7 (56.7%) (19.1%)	924.4 (56.9%) (19.3%)	79.7 (+0.2%) (+0.2%)	9.4%
営業利益 (%)	204.1 24.2%	220.3 23.8%	16.2 (-0.4%)	7.9%
経常利益 (%)	220.0 26.0%	227.4 24.6%	7.4 (-1.4%)	3.4%
当期利益 (%)	132.7 15.7%	117.1 12.7%	-15.6 (-3.0%)	-11.7%
総資産残高	2,529.0	2,601.4	72.4	2.9%
自己資本比率	91.1%	90.3%		
一株当り当期利益	363.15円	330.23円		
一株当り配当	120円	150円		
連結配当性向	33.0%	45.4%		

対前年同期主要増減		
[売上高]	79.7億円増	
ヒロセ単体 +43.9億円	海外子会社 +6.1億円	ヒロセコア +25.6億円
[売上原価率]	0.2ポイント悪化	
仕入原価率 42.2% → 42.6%		
減価償却費率 7.9% → 6.6%		
労務費・その他経費率 6.6% → 7.7%		
[販売・管理費比率]	0.2ポイント悪化	
人件費・発送費等増加による		
[営業外損益]		
持分損益+4.1億円→ +4.7億円		
受取利息・配当金11.3億円→ 8.5億円		
為替差損 2.1億円→ 7.5億円		
[特別損失]		
ヒロセコア段階取得による差損 19.0億円		
災害(東日本大震災)による損失 3.6億円		

H22年度 東日本大震災の影響

1. 売上高・営業利益

売上高 約16億円の減少

営業利益 約10億円の減少

2. 特別損失(災害による損失)

単位: 億円

固定資産廃棄 1.5

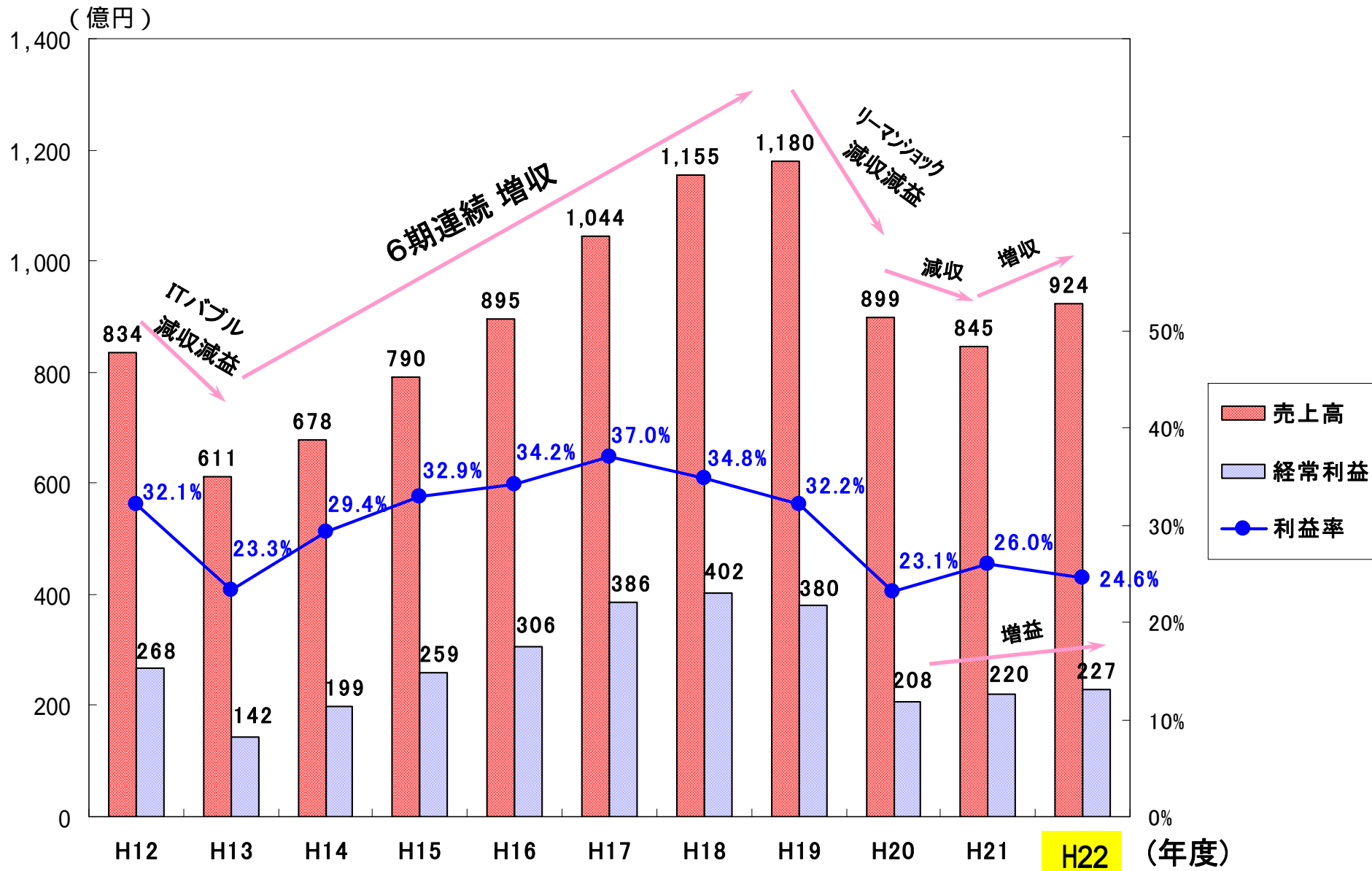
棚卸資産廃棄 1.1

工場天井修理費 0.8

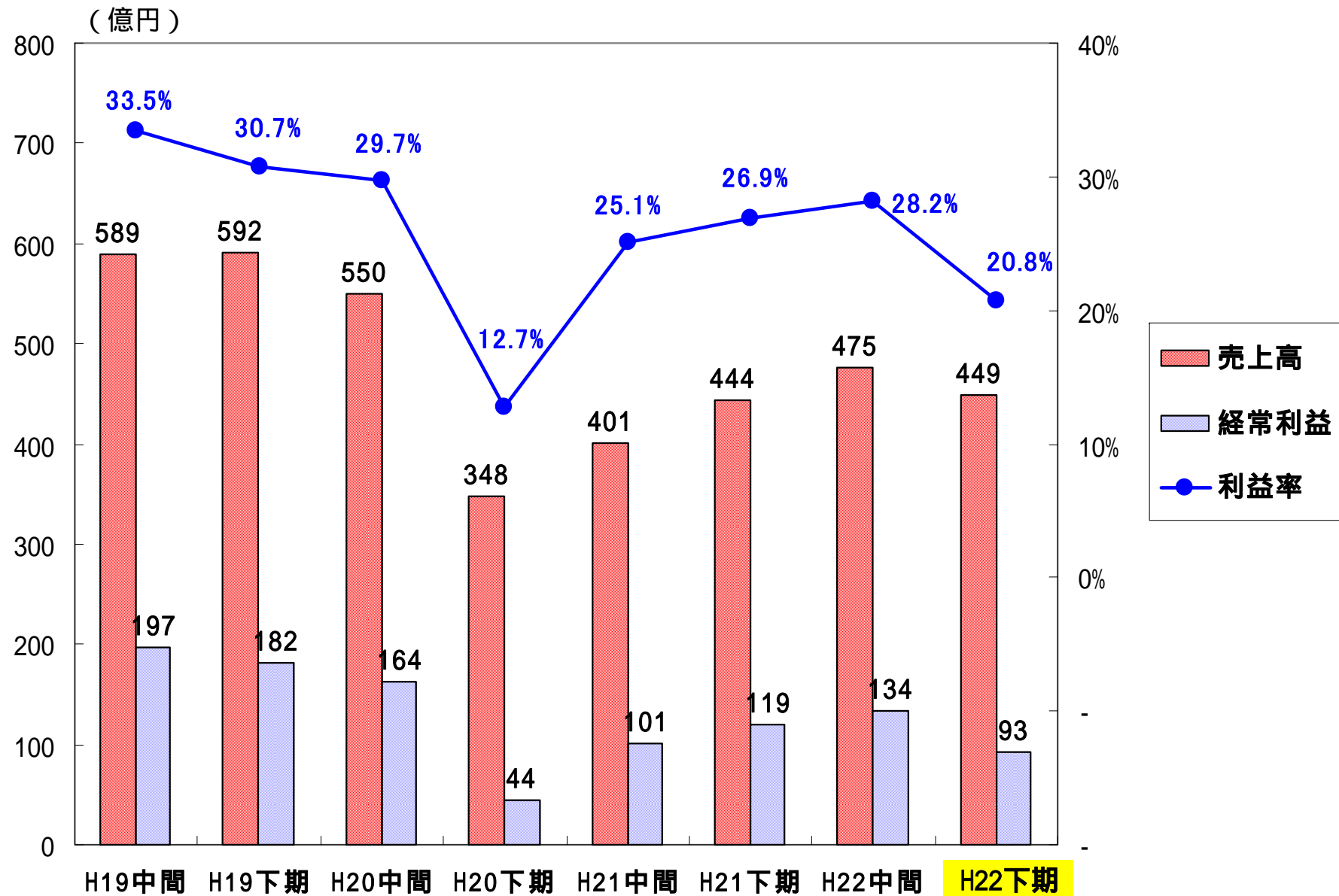
車両・駐車場修復費 0.2

合計 3.6 億円

売上高・利益 実績推移



半期別 売上高・利益 推移



連結貸借対照表主要増減

(億円)

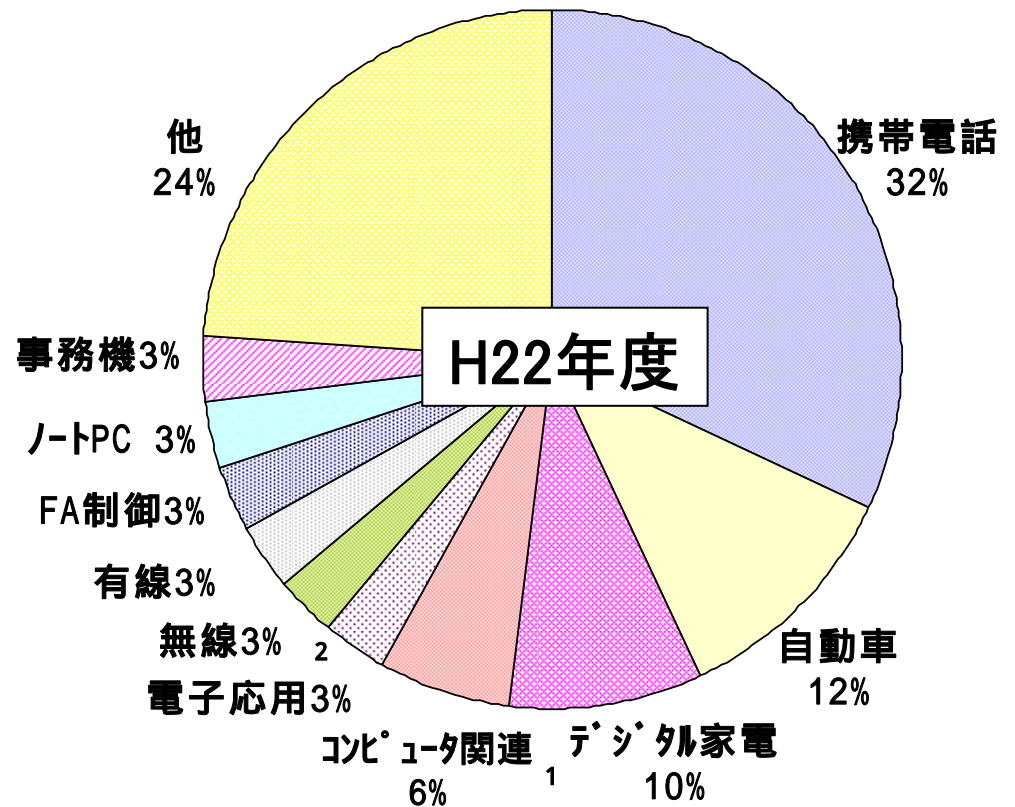
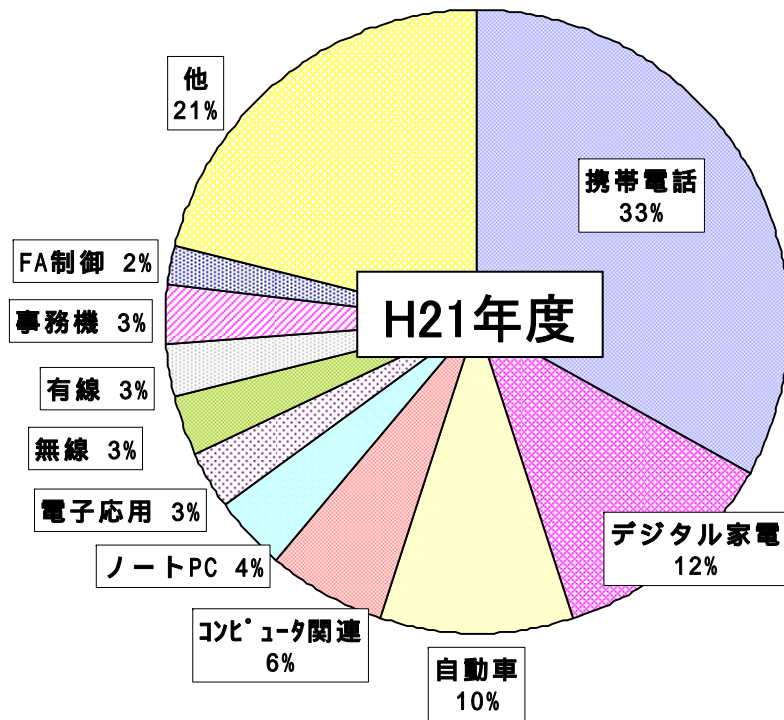
区分	科目	(A) H22/3末	(B) H23/3末	(B) - (A)	備考
資 産	現金及び預金	1,095.7	1,094.2	-1.5	
	受取手形及び 売掛金	240.1	230.6	-9.5	ヒロセ電機売上高:H21/4Q→H22/4Q -23.0
	棚卸資産	63.0	72.7	9.7	ヒロセコリア分+13.3
	投資有価証券	652.6	641.6	-11.0	関連会社株式-44.1 ヒロセコリア分+13.9、社債等+19.2
	その他	477.6	562.3	84.7	有形固定資産+59.0
	合計	2,529.0	2,601.4	72.4	

連結貸借対照表主要増減

(億円)

区分	科目	(A)H22/3末	(B)H23/3末	(B)－(A)	備考
負	支払手形及び買掛金	120.1	109.4	-10.7	生産減に伴う仕入減
	未払法人税	48.9	40.6	-8.3	
	その他	55.9	75.7	19.8	
		224.9	225.7	0.8	
純 資 産	利益剰余金	2,552.6	2,620.6	68.0	当期純利益117.1億円-配当47.9億円
	自己株式	-465.4	-493.2	-27.8	自社株買い
	その他有価証券 評価差額金	23.5	21.2	-2.3	株価安(日経終値:11,090円→9,755円)
	為替換算調整勘定	-45.1	-38.2	6.9	
	その他	238.5	265.3	26.8	少数株主持分
	合計	2,304.1	2,375.7	71.6	
負債及び純資産合計		2,529.0	2,601.4	72.4	

用途別売上構成比(概数)

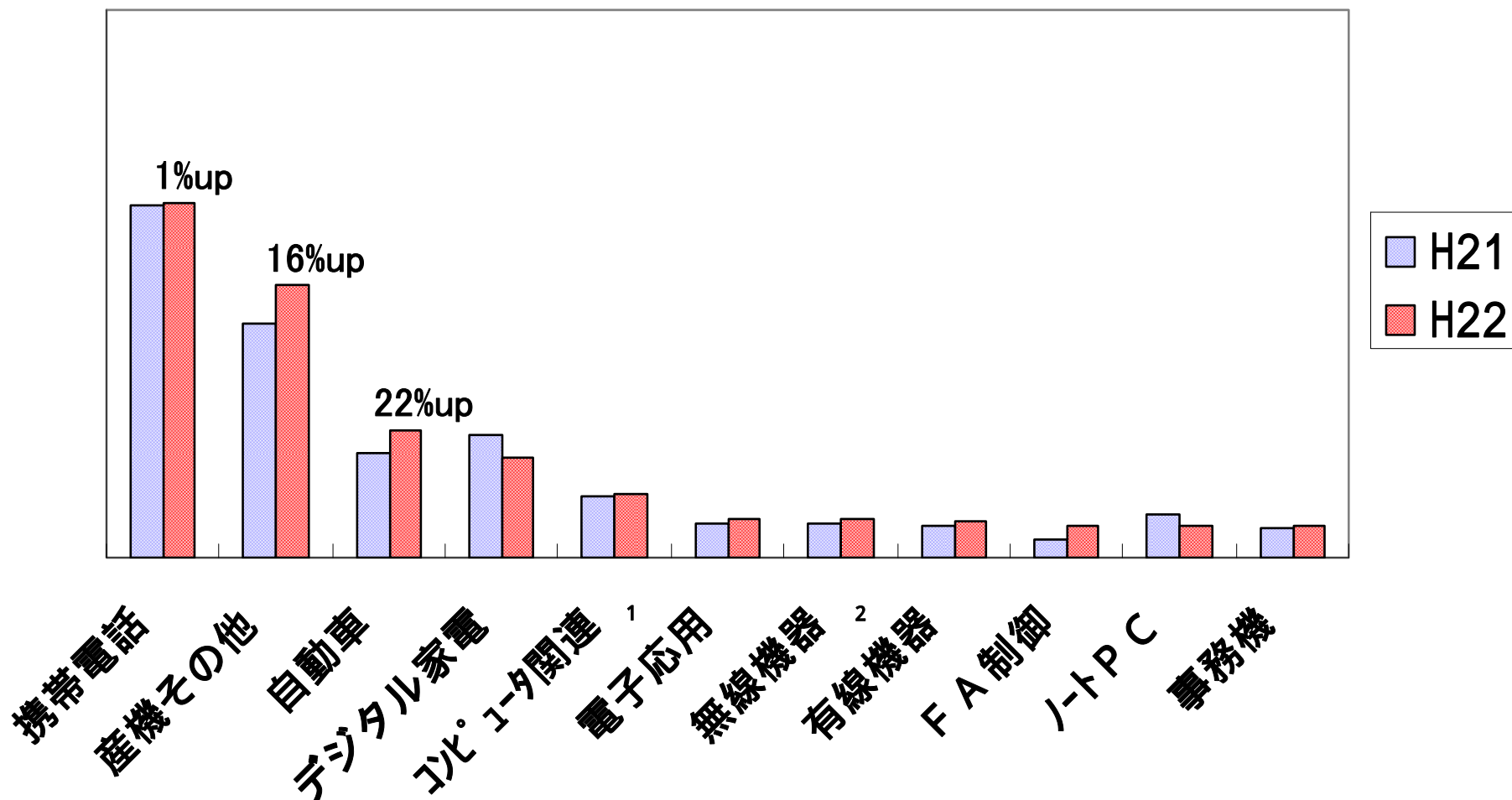


※1 コンピュータ関連・・・ノートPCを除くコンピュータ関連機器

※2 無線・・・携帯電話を除く無線通信機器

用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性があることをご承知願います。

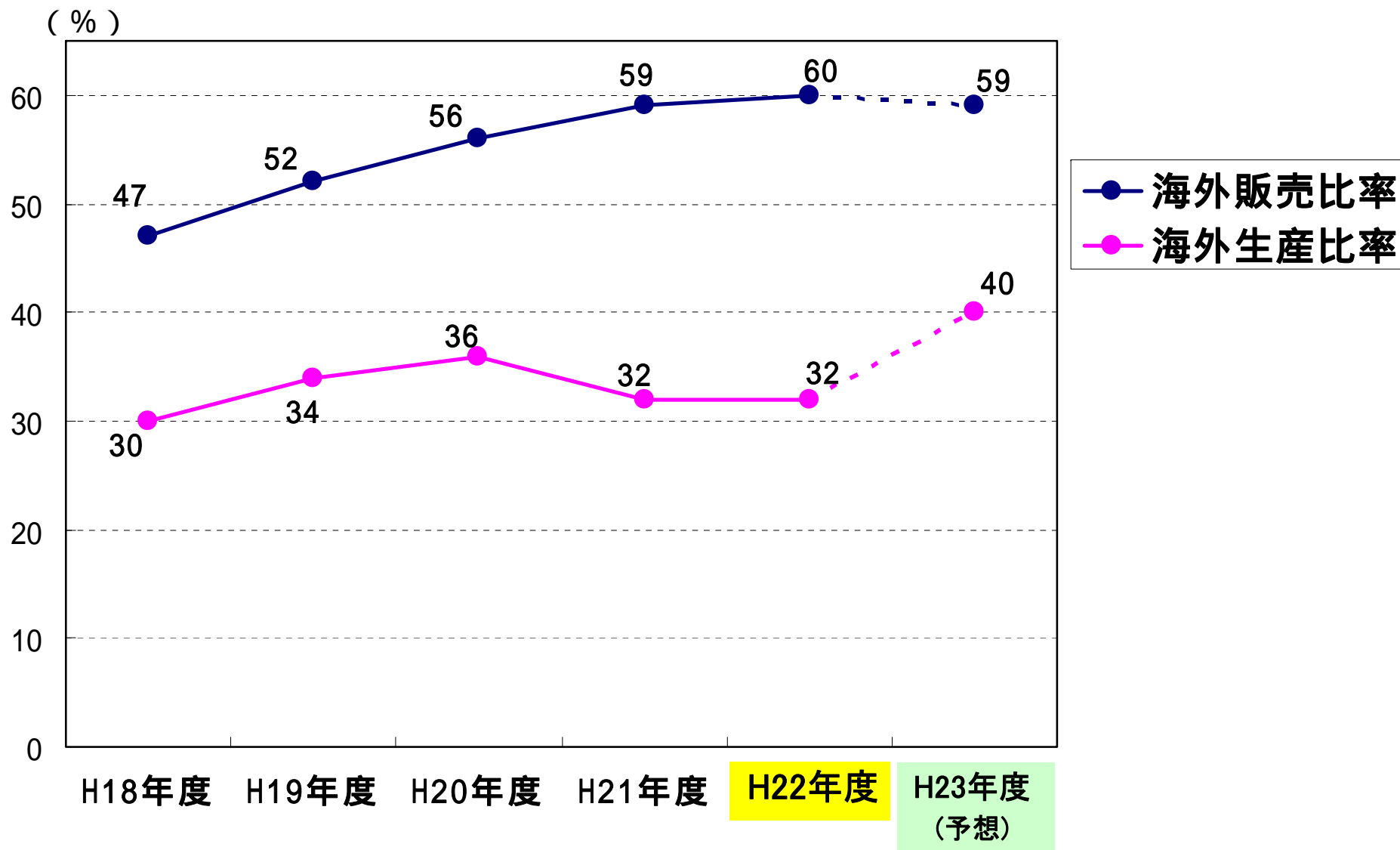
用途別売上 前年比較 (概数)



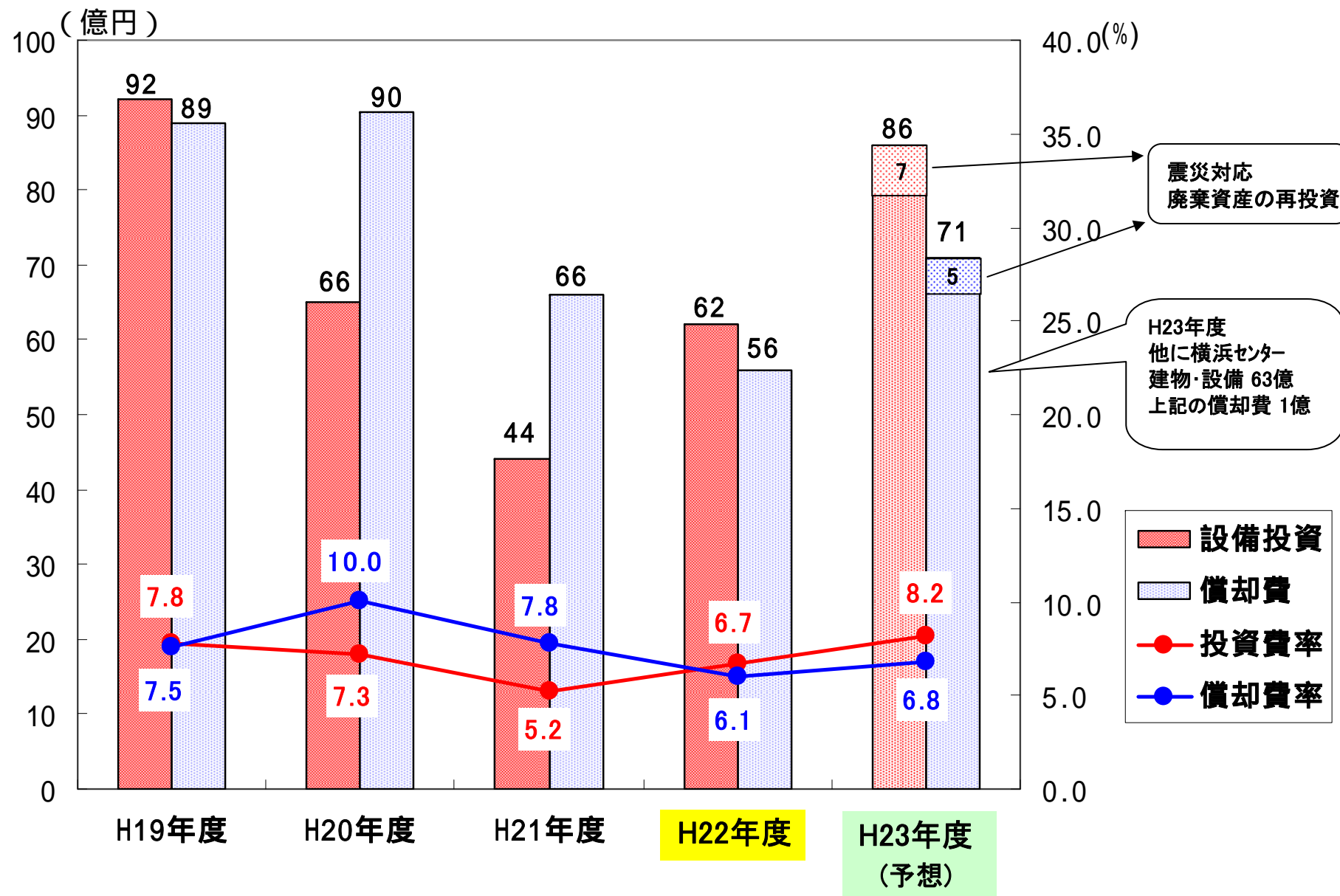
※1 コンピュータ関連・・・ノートPCを除くコンピュータ関連機器

※2 無線・・・携帯電話を除く無線通信機器

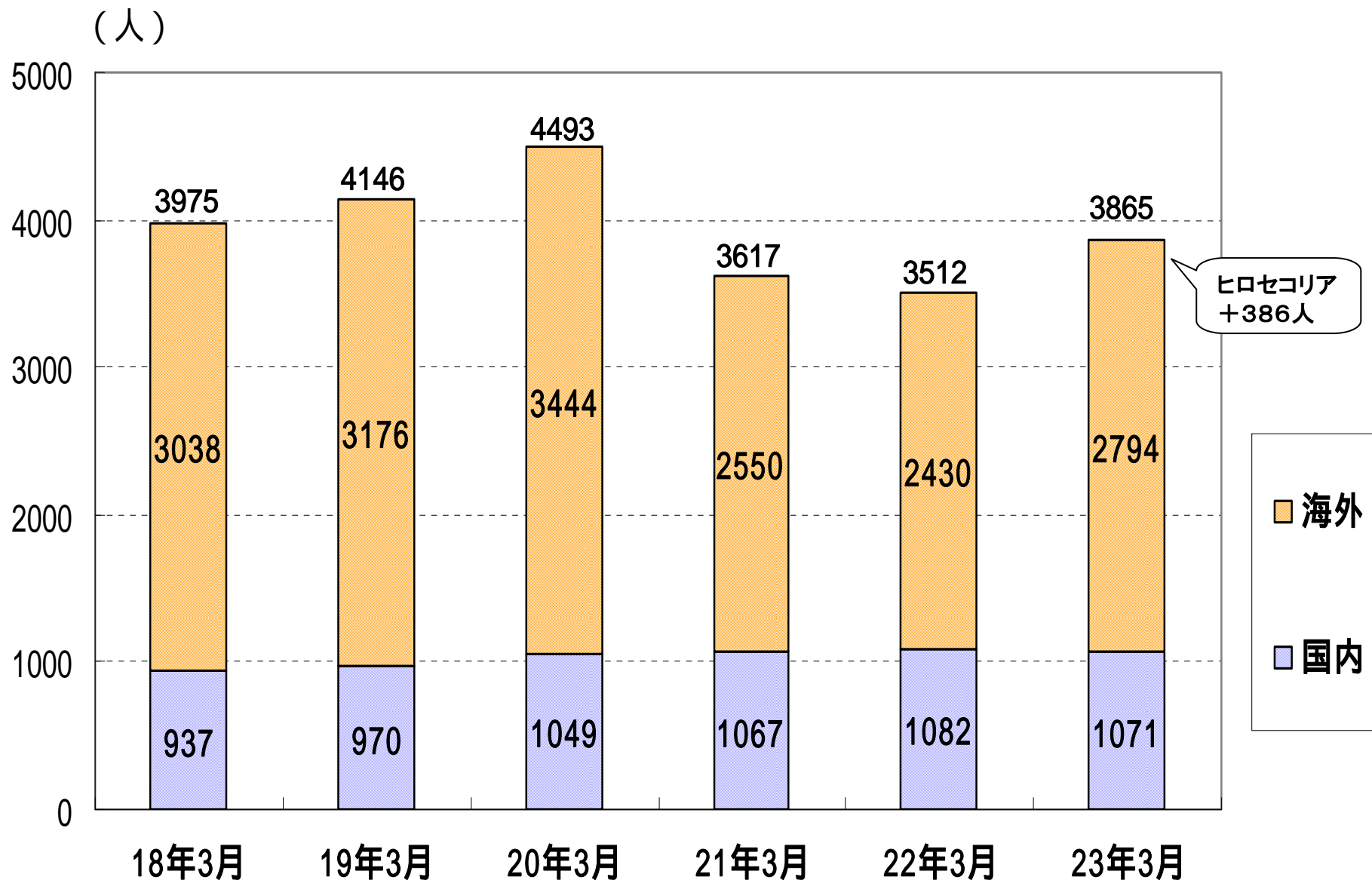
海外生産比率・海外販売比率 推移



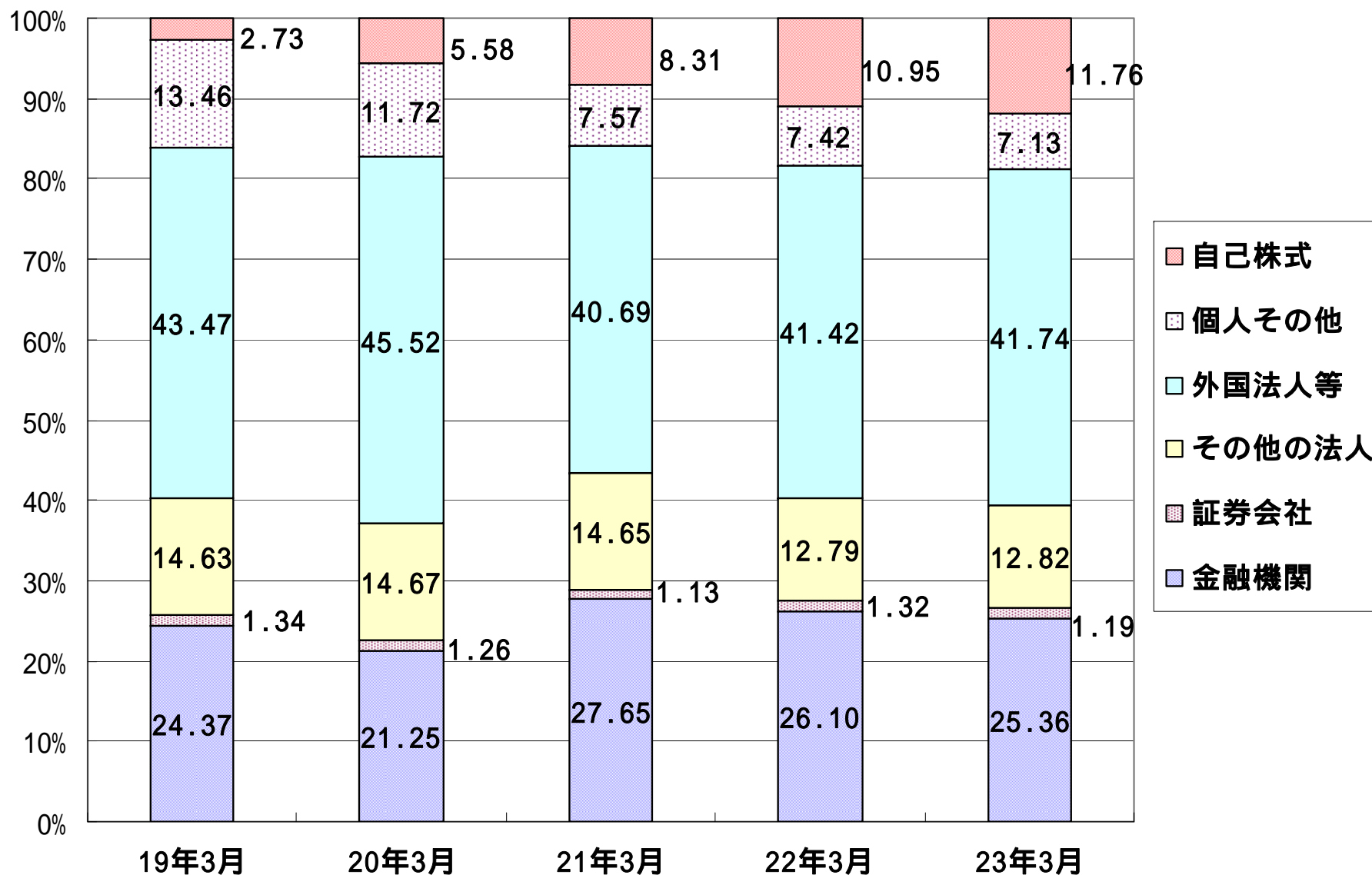
設備投資・償却費 推移



従業員数 推移 (有報ベース)



株主分布 推移



H24年3月期 業績予想(連結)

注) 中間期・・・第1四半期・第2四半期累計、下期・・・第3四半期・第4四半期累計としています

(金額単位: 億円)

	H22年度実績			H23年度予想			中間期 対前年実績		下期 対前年実績		年間 対前年実績	
	中間期	下期	年間	中間期	下期	年間	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 (売上原価率)	475.4 (54.0%)	449.0 (60.0%)	924.4 (56.9%)	510.0 (57.6%)	540.0 (58.5%)	1,050.0 (58.1%)	34.6	7.3%	91.0	20.3%	125.6	13.6%
営業利益 (%)	131.1 27.6%	89.2 19.9%	220.3 23.8%	124.0 24.3%	126.0 23.3%	250.0 23.8%	-7.1	-5.4%	36.8	41.3%	29.7	13.5%
経常利益 (%)	134.1 28.2%	93.3 20.8%	227.4 24.6%	127.0 24.9%	133.0 24.6%	260.0 24.8%	-7.1	-5.3%	39.7	42.6%	32.6	14.3%
当期利益 (%)	83.3 17.5%	33.8 7.5%	117.1 12.7%	77.0 15.1%	83.0 15.4%	160.0 15.2%	-6.3	-7.6%	49.2	145.6%	42.9	36.6%
一株当り当期利益	-	-	330.23円	-	-	453.08円						
一株当り配当	75円	75円	150円	75円	75円	150円						
連結配当性向	-	-	45.4%	-	-	33.1%						

国内ロケーション

営業本部



本社



(東京)

東北ヒロセ電機(宮古)



一関ヒロセ電機



郡山ヒロセ電機



技術センター



(横浜)

立川営業所

名古屋営業所

大阪支店



東日本大震災の影響と今後の対応 (2/4)

3月11日(金) 14時46分 東北地方太平洋沖地震(M9.0) 発生
 東北地方では直後に停電、断水。通信は携帯電話も殆ど接続できない状態

	東北ヒロセ (宮古市)	郡山ヒロセ (郡山市)	一関ヒロセ (一関市)	協力会社 (東北地方70社)	
				A社(釜石市) B社(東松島市)	C社(いわき市)
3月14日(月)	従業員への人的被害は無し (親族、家屋の被災は一部あり)			工場全壊	
3月17日(木)	建物、製造設備等に大きな被害なし 停電・断水、通信・物流遮断→生産停止	建物、製造設備等に損傷あるも、ほぼ復旧 電気・通信は復旧、徐々に生産再開	建物、製造設備等に損傷は軽微で修復中 電気・通信は復旧、徐々に生産再開見込み	↓	原発事故影響 ↓ 作業停止
3月24日(木)	電気・水 復旧、生産再開		出荷も開始		↓ 作業再開
3月31日(木)	通信回線復旧 従業員も大半出勤 生産・出荷も本格化へ	建物、製造設備等も復旧 生産・出荷もほぼ通常どおりの操業	建物、製造設備等も復旧 生産・出荷もほぼ通常どおりの操業		↓

4月7日(木)の余震 東北ヒロセ、一関ヒロセで停電・断水(4/7 4/9) 4/10 通常操業中

H23年3月期 決算への影響

1. 売上・営業利益

売上高 約16億円の減少

営業利益 約10億円の減少

2. 特別損失(災害による損失)

固定資産廃棄 1.5

棚卸資産廃棄 1.1

工場天井修理費 0.8

車両・駐車場修理費 0.2

合計 3.6 億円

H24年3月期 決算への影響

1. 廃棄固定資産(主に金型、治工具類)への再投資

金型 3.0

治工具 3.0

機械装置 1.0

7.0 億円

2. 上記に伴う減価償却費

5.0 億円 / 年

生産材の確保

金属材・樹脂材の確保を対応済、生産に支障無し

放射性物質汚染への対応

出荷製品の放射性物質汚染
・ガイガーカウンターによる測定を実施
・運送会社による測定(海外向け出荷品)

協力会社C社 バックアッププランにて岩手県への移管を推進中

夏期電力不足への対応

サマータイム既に実施済み

広告塔も取りやめ(五反田駅前)

間引き節電実施

クールビズ実施検討中

必要に応じて生産シフトチェンジを検討

量産品の生産拠点リスク分散化への取り組み

海外(中国・インドネシア・韓国 等)、国内(富山 等)への生産場所
変更を推進中